

○キャリア教育実践報告1

本校では将来の豊かな生活を目指してキャリア教育に取り組んでいます。学校教育目標を踏まえ、キャリア教育の全体目標を次のように設定しています。

自らの病気や障害と向き合い、病気に対する自己管理や心身の安定に配慮しながら、社会参加と自立、豊かな生活の実現に向けて、主体的に生きる力を育てる。

また、目標の達成に向けては「人間関係形成・社会形成能力」「自己理解・自己管理能力」「課題対応能力」「キャリアプランニング能力」の4つの力の向上を目指して、各学部・学級の授業形態や児童生徒の実態に応じて、さまざまな方法で実践しています。

今回と次回の進路だよりでは、中学部とやしお学級のキャリア教育の取組を紹介します。

《中学部》

○「人間関係を広げる」

人間関係を広げるために、教師や友達へあいさつをしたり、友達とかわかれる機会を設定したりしています。



○「課題対応能力」

中学部3年生は、「将来の進路希望に基づく目標を立て、その達成に向けて計画的に努力する」という目標のもと、それぞれ進路実現に向けて体調を整え、日々の学習に取り組んでいます。

まずは、1日の生活をしっかりと振り返り、自分自身を見つめるために、毎日「振り返りシート」を活用しています。

○「自己理解・自己管理能力を高める」

中学部1年生は、「より良い集団活動のための自分の役割やその方法が分かる」ことを目指し、自立活動の時間に教員や友達との話し合いや身体を動かす機会を設けました。活動を通して話し合いや運動する楽しさを感じながら、友達と協力してゲームの準備をしたり、打ち方やルールなどを覚えたりできました。



○「自己肯定感をもち、自分らしさや自分の良さが分かる」

自己肯定感を高められるように、成功体験の視覚化と経験したエピソードから気持ちの言語化をしています。成功体験の視覚化では、学級で掲げためあてを達成することにシールを貼っています（写真1）。また、定期的に経験した出来事や近況についてのエピソードを話す機会を設けています。その際、気持ちの表現カードや表現の仕方を提示することで、抱いた感情に一番近い言葉を表出できるようにしています（写真2）。学校生活において頑張った様子や制作物、描いた絵などを写真に収め、タイトルをつけてファイリングをしています。継続的にファイリングしていくことで自分自身の良さや好きなこと、得意なことへの気づきに繋がっています（写真3）。



（写真1）



（写真2）



（写真3）

《やしお学級》

やしお学級では、キャリア教育全体計画から重点目標を設定しました。

【重点目標】

小学部：自他への関心を高める

中学部：人間関係を広げる

高等部：集団や環境の変化に対応する

上記の目標に対して継続し、目標の達成に向けて活動に取り組んでいく内容を設定しました。

【実施内容】

通年：朝の会

（始めの挨拶、始まりの歌、天気・日付の確認、今日の予定と目標、季節の歌、終わりの挨拶）

病棟内のカンファレンス室に集合し、集団で朝の会を行っています。『始まりの歌』では、児童生徒と教師と一緒に歌を歌い、呼名と体調の確認をします。返事をしたり、手を挙げたりして、児童生徒それぞれの表現で伝え合うことができました。また、ベッドサイドで学習する児童生徒は、素材を工夫して作った天気に関連した教材を見たり、触ったり、歌を聴いたりする活動を、それぞれの目標に応じて、教師や同室の児童生徒と一緒に行いました。



一年を通して、季節の移り変わりや周囲の環境の変化に気付いていけるよう、児童生徒と教師が制作した季節を表す教材を使い、皆で『季節の歌』を歌っています。教材は素材等を工夫して、感覚遊びにも使用できるようになっています。